

PHOTO  
ふ  
な  
ば  
し

特集  
不慮の災害に備えて  
自主防災活動盛ん

市政トピックス

写真特集  
スポーツ健康都市宣言  
一周年記念フェスティバル

まちなかの文化財 (菟蒨神社)

広報ふなばし写真版

DECEMBER

12月

vol. 4

隔月年6回発行



# 自主防災活動盛ん



高層建物からの救助訓練には消防署の屈折はしご車「スノーケル」が大活躍



メガホンは消防局情報班



市防災課の指導により地震車「なまず号」で震度7の体験



小型ポンプを使用した自主防  
消防班の消火訓練



消火器による初期消火訓練は必ず  
経験しておきたいもの



給水給食活動ならまかせてください



消防署救急隊員による三角布の実演訓練

地震や火災の真の恐ろしさとは何でしょうか。家や道路がこわれ、多くの人が死んだりケガをする。大切な財産や、親しんでいたものを一瞬のうちに灰にしてしまう。いろいろな事態が想像されます。しかし、本当の恐ろしさは、それが「いつ起こるか分からない」ということ。予測できることなら、ある程度の対処ができるでしょうから。しかし突然、今それが起こったとしたら……。「備えあれば憂いなし」不慮の災害の時、あわてず、沈着にと言ってもむずかしいことです。普段から心がまえと準備をしておくことによって、いざという時、落ち着いた行動がとれるはず。家族で防災について話し合うことも大切なことです。避難場所を確認したり、家具を固定したり、消火器の取り扱いを練習することは、今すぐ家庭でできる最も基本的な作業です。いざ、その時になってあわてぬよう、基本動作をくり返し体験しておくことが大切です。市では毎年9月1日に防災総合訓練を実施



子供たちも熱心に訓練を見守った





早朝から多くの人々が沿道に

## 世界の“瀬古”小室を走る

マラソン界のスター、瀬古利彦選手が初めて船橋の小室を走りました。これは、さる11月18日(日)に行われた東日本実業団対抗駅伝で、瀬古選手は印西町、白井町、小室の区間、1往復24キロメートルを力走。

この日“世界の瀬古”を一目見ようと沿道に集まった大勢の観衆は、瀬古の軽やかな足どり、無駄のないスケールの大きい走りに、「さすがに速い!」と感嘆の声をあげ、熱い声援を送っていました。4年後のソウルオリンピックが楽しみです。



力走する瀬古



電算室で担当職員の説明を聞く一行

## コンピューター視察団デンマークから

11月15日、デンマークのデータ処理会社「コミュニデータ」の日本視察団が、市の電算システム見学のため来庁しました。視察団は州知事2人、市長2人などを含むコミュニデータの役員ら13人。一行は市のコンピューターシステムの説明を受けたあと、電子計算室や実際の現場である市民課などを見学しました。複雑な漢字入力装置や日本独自の印鑑証明処理事務などに特に関心を持ったようで、質問にも熱が入っていました。なお今回の来日は2月に続いて2度目であり、その関心の深さが推察されます。



市民課を見学する一行



受賞作品の前で

## 話題集めた勤労者美術展

11月23日から25日までの3日間、第12回船橋市勤労者美術展が中央公民館で開催されました。この美術展は、船橋市主催、船橋地区勤労者福祉協会などの後援で行われ、日本画・洋画・書・写真の4部門があります。今年から、各部門に千葉県知事賞が加えられるなど話題性にも富み、例年以上の出品数増加がみられました。審査の先生方も「力作が増えてきたので今後が楽しみになってきました」と話していました。



テープカットは右から小川市議会議長、大橋和夫市長、新西安市副市長、丹澤ららぼーと社長、高宮そごう常務

## 西安の文化一同に

「中国4千年の文化を船橋に」昨年5月、中国西安市を公式訪問した大橋和夫市長を団長とする本市の訪中親善使節団が、西安市と友好のきずなを深めるために計画した、待望の「中国西安文化物産展」は、去る11月2日～14日ららぼーとで開催されました。これに先立ち新毅仁西安市副市長を始めとする代表団一行が、市庁舎に大橋市長を表敬訪問、両市の交流の一層の推進を確認すると共にその友情を深め合いました。

西安フェアでは、硯・筆などを始めとする中国の特産品を集めた物産展、陝西省博物館秘蔵の古代中国の著名な書家の拓本展、中国民衆芸術の華々雑技、総勢36人の鍛えぬかれた技などが、船橋っ子たちに披露され、好評を博しました。



著名な書家の拓本展



数々の特産品を集めた物産展



人気を集めた雑技団の妙技

## 市民5万人がクリーン作戦

11月23日、市内54か所、約5万人の市民が参加し「船橋をきれいにする日」が行われました。この運動はクリーン船橋市民会議と市が、市民総ぐるみ運動として提唱したもので、中央会場の天沼弁天池公園、周辺目抜き通りでは、大橋和夫市長と清水光明会長、青少年団体が空き缶などを拾い集めました。そして市内54の各地域では、自宅から最寄りの会場まで、空き缶類を拾い、クリーン作戦を展開。この日1日で37トンもの成果をあげました。



寝たきり介護教室

## 多彩な催し「健康展」

第3回健康展が去る11月10日と12月8日の両日、中央保健センターと、東部保健センターで開催されました。「見なおそう健康、とり戻そう体力」と題した今回の会場には、数々の健康に関する展示物とともに、健康、歯、栄養などの相談コーナー。そして、パパとママになる為の教室、寝たきり介護教室、栄養教室、体力測定など多彩な催し物に会場を訪れた多くの皆さんが熱心に参加しておりました。

# スポーツ健康都市満1歳!

— 盛大に記念フェスティバル



昨年10月10日、船橋市はスポーツ健康都市宣言を行い、数々のスポーツ施策を実施してまいりましたが、去る10月10日、その一周年記念フェスティバルが盛大に開催されました。運動公園をメイン会場に、親子レースやタイム宣言レース、そして天沼弁天池公園からのウォークラリーなどに多くの参加者が汗を流しました。またこの日、大橋和夫市長やちびっこたちにより、市役所駐車場のまちかどスポーツ広場のオープン式も行われました。



お父さん早く / 話題を呼んだ2km親子レース  
ゴールでは親子が手をつないで入らないと失格



みんなで食べる昼ごはん  
とてもおいしそうでした



天沼弁天池公園から運動公園までのウォークラリーには多くの人たちが参加しました



保健婦さんたちによる健康相談



練習のときより速くなってしまったという人が多かった5km宣言タイムレース



おめでとう / 入賞者を表彰する大橋和夫市長



市役所駐車場のまちかどスポーツ広場もオープン



プロ野球のコーチや解説者による野球教室も好評でした

## 第6回船橋市写真展作品募集

会期 昭和60年1月26日(土)～2月3日(日) (月曜休館)  
 会場 市民文化ホール2階展示室  
 部門 ○白黒写真の部 ○組写真の部 ○カラー写真の部  
 テーマ 自由 (未発表のもの)  
 出品方法 1月22日(火)PM 3:00～7:00に文化ホール展示室に搬入  
 ※詳しくは、各公民館にある開催要項をご覧ください。  
 問合せ 教育委員会社会教育課 ☎ 2895



菟蒭神社の石碑

## まちかど文化財

### ③ 菟蒭神社

所在地 市内飯山満町2丁目  
840番地

銀杏(いちじょう)散り敷く明るい境内について誘われて、飯山満町の大宮神社の参道に足を踏み入れる。側に、むかし浅間講(せんげんこう)の仲間が作った「ミニ富士山」。そこまではわかったが、「菟蒭神社」という石碑があって、何と読むのか、変な神社と思った。早速漢和辞典。あった!「コンニャク神社」か、へえ、「コンニャク」も神様になるのか、へえ。  
 むかし、といつてもまだ新しい昭和の初め頃、この辺一帯からずつと前原団地の方までコンニャク畑があった。コンニャクがよい商売になり、当時「コンニャク成金」といわれる人まで現れた。その位だったから村中あげて生産した時代もあった。しかし時代が移り食べ物好みも変り、しかもコンニャクは連作がきかない作物だったので、急速に衰え、今日ではすっかり減ってしまった。その貴重な歴史の生き証人となったのが、この「菟蒭神社」の碑だろう。



この鳥居をくぐってすぐ右奥に石碑はある



寒くなんかないよ / 元気一杯餅つきをする湊町保育園の園児たち



# スポーツで健康ふなばし こんにちは…

## 編集後記

今回の特集は、緑台町会と習志野台2丁目町会の自主防災訓練の現場におじゃまさせていただき、その訓練ぶりを取材させていただきました。いざという時、はたして冷静に行動がとれるかどうか、とにかく「やるべきことはやっておく」という皆さんの気迫が強く感じられた取材でした。写真特集では、スポーツ健康都市満1歳と題して、10月10日の記念フェスティバルの様態を掲載いたしました。

このPHOTOふなばしは町会・自治会の皆様のご協力によって各家庭に配布されますが、手に入らなかった方は、最寄りの公民館・出張所・図書館などに用意してありますので、そこでお受取りください。今年もあ тов りずか。健康に留意されよお年をお迎えください。